



濱田 淳

# 実験研究 自分だけの ミニマム・テレビ局

## 第1回 ミニマム・テレビ局の全貌

本連載では、デジタル放送システムを構築して、ミニマム構成のテレビ局を作ってみます。

皆さんの身近にある一般的な地上デジタル放送用テレビに、自分専用のMyチャンネルを追加することができるようになります。テレビを単なるHDMI入力のモニターとして使うのではなく、図1に示すようにすでに設置されたり持ち運ばれたりしている多数のテレビをインフラとして、さまざまな情報を配信できるようになります。

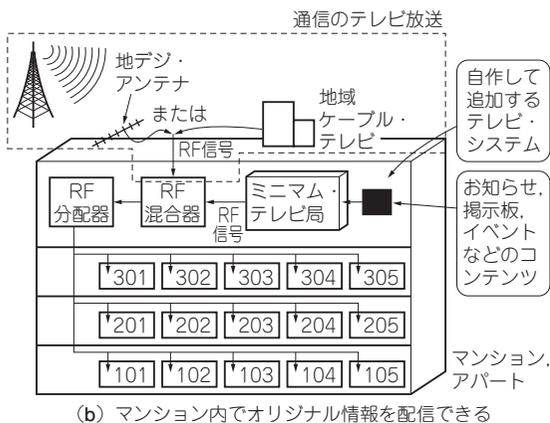
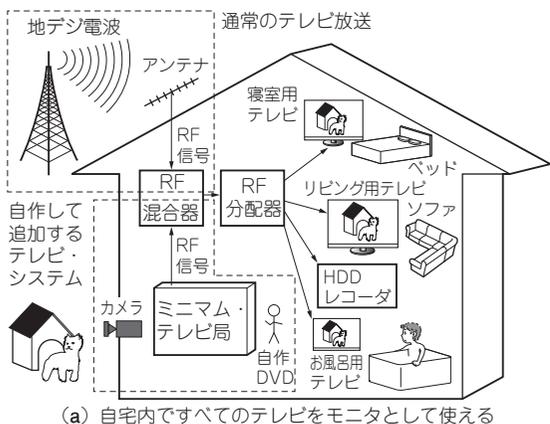


図1 自作ミニマム・テレビ局でできること

### ● これからの新しい放送のしくみ

現在、日本では新しい放送のしくみを検討しています。その中でエリア放送とマルチメディア放送について紹介します。Myミニマム・テレビ局で紹介する技術は、これらの新しい放送の参考にもなります。

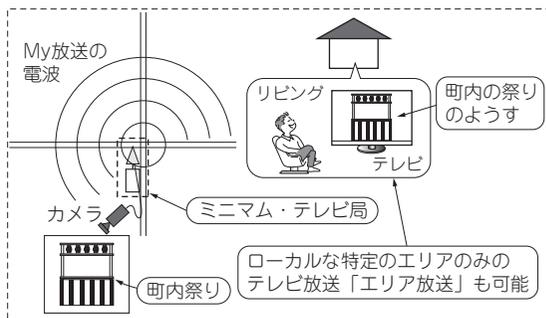
#### ▶ その1：学内/町内レベルの超ローカルなエリアだけOK…エリア放送

エリア放送は、図2のように比較的小規模なコンサートホールや商店街、商業施設(ショッピングモールなど)、大学や高校のキャンパス内などを想定した放送サービスです。映像以外にもエリア内の人々に役立つさまざまな情報を伝達する手段として注目されています。

#### ▶ その2：全国放送でIPパケットを配信…マルチメディア放送

マルチメディア放送は、VHF High帯を利用した全国放送としてNOTTVで初めて採用された方式です。IPデータキャスト(IPDC)という技術を使用して、IPパケットを放送波で伝送できます。通常放送やIP放送とマルチメディア放送の違いを図3に示します。

こちらも新しい情報伝達の手段として注目されており、特に災害時には放送電波でタブレットやスマートフォンに対して情報を届けることができます。



※放送免許が必要です

(c) ゆくゆくは…町内などのローカルなエリア限定テレビ放送「エリア放送」も可能に(免許が必要で、実際に秋葉原/六本木ヒルズ/お台場などで免許が始まっている)